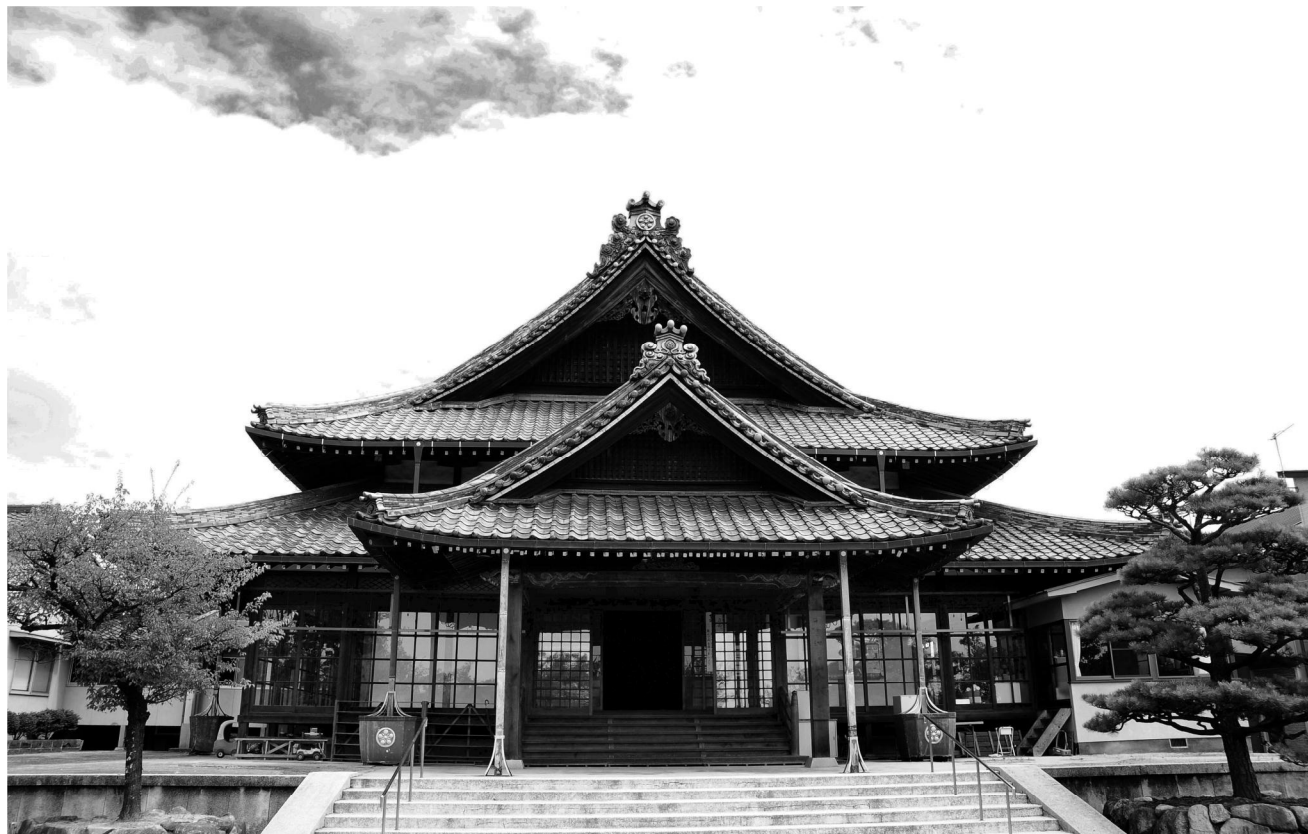


# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 福山分教会神殿

(昭和30年1月15日 奉告祭  
福山市中心街が一望できる 7月18日撮影)

## さあ！おたすけ 祈る 動く つなぐ

おたすけ・お願いカード 集計：82,243枚

平成27年5月21日～6月20日

累計：1,033,250枚

一万人のおぢばがえり

集計：843人

累計：4,006人

平成27年 1月1日～6月20日

立教178年  
7月号



神様はいますか？

テッチャンシアター開催  
6・21 祭典後  
少年会

少年会笠岡団(武内正美団長)では6月21日(日)大教会祭典終了後、テッチャンシアターを開催させて頂きました。今回の担当は少年会委員の佐藤和代先生です。

小冊子「育成News」より神様のお話し(増田正義先生)をもとに子供達に語りかけます。「この絵は何を書いていますか？」子供達は次々に答えます。「家」

「車」「煙突」：

「では、風は吹いていますか？」  
「ハイ」と子供達。

「それはどこでわかりますか？」  
「けむりが流れています。」

風は目には見えませんが、煙の流れで子供達はそう思いました。

「では神様はいますか？」  
「ハイ!!」と子供達。

目に見えないものでも存在するものは確かにあります。

「ハイ」と手をあげた子供達ですが、でも煙の流れの様に神様を確かなものとして感じているかは「？」です。

素直にお家の人に連れられて大教会に参加してくれる子供達ですが、その心を育てていくのは私達大人にかかっていると思います。

(少年会委員 丸山哲子)

よふぼく勉強会開催  
テーマは「夫婦」

6月月次祭後

育成部

育成部(吉岡壽部長)では6月21日祭典終了後、会議室に於いて田中ますみ

福山分教会前奥様を講師に迎えてよふぼく勉強会を開催、36人が参加した。

田中先生は「夫婦」というお題を頂戴したが、主人である前会長を3年半前に亡くし、今は「夫」が無くなり「婦」だけになってしまったと和やかな雰囲気の中で始められた。

初めに、45年前の福山分教会婦人会総会での講話を紹介され、その後、ご自身のお見合い当時の事を振り返り話された。続いて、五分五分という夫婦の立場からお互いの徳分を出し合い支え合う姿がより良き夫婦の有り方だとし、女性は夫婦生活で嫌な事でも上手に受け止める癖をつける事が大事であると話された。そのうえで元の理の説き分け話しをされ、男女それぞれの性を活かし夫婦相反するお互いは恩の報じ合いをする中から、親神様は、陽気ぐらしに向かって成人してもらい易い者同士を夫婦として結んでいると話しを進められた。さらにみかぐらうた・天理教教祖伝説話を引用され、夫婦は自らが親孝行をする姿を、後に続く子供達へ映していく必要があると強調され、その中で私達夫婦はお互いの育った教会のいんねんを自覚し、信仰4代目にしてやっとな子供も欠ける事な



「夫婦」について

く、47年間お連れ通り頂いた喜びが不思議ないんねんの元にあると自覚される事話された。

その後、昭和60年、教祖100年祭を迎える最後の年に交通事故に遭遇し、その大節を通して更に夫婦の絆を再確認された事、また前会長の癖性分を通し自分が女性としての徳分で果たすべき姿に気づかされた事など前会長との思い出の日々に触れられた。たんのう一筋に通った主人の七分の徳とご自身の三分の持ち合わせでお連れ通り頂いた人生を振り返られた後、夫婦とは五分五分とはいかなくても足して十分になる努力こそがお互い成すべき姿である

と言及された。

そして、笠岡大教会創立120周年記念祭を夫婦一緒につとめられた喜びと、夫婦で最後に交わした約束を聞かせて頂き、最後にある教会の立て鏡の横に書いてあった「ちようどよい」という詩を紹介され終了した。

「お前はお前でちようどよい。顔も姿もそれでよい。夫も妻も親も子もそれはお前にちようどよい。喜び怒り腹立ちも悲しみさえもちようどよい。お前の歩いた人生はそのままそれでちようどよい。親神が下さる守護ならちようどよくないはずはない。」

### 詰所看板取付

### ひのきしん実施

夏のこどもおぢばがえり実行委員会ひのきしん部では、6月22日(月)、8人の有志と詰所勤務者で看板取付ひのきしんを行った。

前日、21日(日)大教会祭典終了後、それぞれの役職会議を終え、この度は笠尋分教会のトラックをお借りし数人でテント・看板などの物品を積み込みんだ後、3台の車に分乗して夕方大教



こどもおぢばがえりが始まるよ!

会を出発した。中国道で渋滞に遭うものの無事天理に到着し、それぞれに夕食を済ませて最終便は午後10時を回って詰所に入った。

翌22日は、近年稀にみる過ごし易さの中で、朝食後すぐに作業を始めた。毎年、現地からひのきしんに来て下さるノースアメリカの佐藤さんも、早朝よりひのきしんに参加して下さい、また詰所勤務者、子供もお手伝い頂く中で玄関前と南棟2階への看板取付を午前中に終了する事ができた。詰所の先生方には朝食・昼食時に一品増やしていただき、風呂の準備や休憩時にたくさんさんの差し入れを頂戴するなど、温か

い親心に触れそれぞれ次のご用に向かつて解散した。

詰所に設置した看板等の撤収作業を8月3日(月)午前9時頃より行いますので伏せ込みひのきしんに参加下さる方は少年会役員、またひのきしん部までご連絡下さい。

### ひのきしん団参 実施

青年会

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)

は、6月28日、ひのきしん団参を実施し、全ブロックより老若男女合わせて55人が参加した。この日は、貯水槽清掃組と、毛布のえり外し組に分かれて、ひのきしんを行った。貯水槽組は、屋上と厨房裏にある貯水槽を清掃した後、ボイラー室地下にある貯水槽で作業を行った。暗く狭い水槽内の作業であったが、ブラシで丁寧に磨いていった。また毛布えり外し組は、各部屋の毛布を大広間に集め、一枚一枚えりを外した。その後、10枚ずつの束にした。参加者は、こどもおぢばがえり前の詰所ひのきしんに、伏せこみの汗を流した。



毛布えり外しひのきしん



貯水槽の清掃ひのきしん

# 談話室



## 仕切り直して

大教会 谷 本 篤 子

「左側は手引き、右側はお仕込み」と、この前4月、天理に帰った時教えていただきました。

平成24年、左の股関節症は軽症だったのでしよう。2カ月休職したただけで日常生活が出来るようになり、仕事を続けて行けるまでに回復させて頂いております。

今年2月に、右の股関節の状態が急に悪くなったようです(自分では筋肉痛・神経痛だと思いたかったですが)。

3月には一歩が出なくなり歩けなくなりしました。治療としては手術しか無かったのですが、行動出来る範囲が狭くなり仕事ができなくなりします。正直「定年まで後わずかなのに、どうして今なのかなあ…良くなつてくれないかな、手術しなくても済むのに…」という気持ちで一杯でした。でも病状は快方に向かつてくれませんでした。4月、痛みで何も出来ない自分を認

めて、お二人の叔父(手術したくても出来なかった叔父?、『生命』と正面から向き合い病と懸命に闘った叔父)の生き方から、お二人の叔母の言葉をここに拾って、手術する決心をしました。

その手術は中庄(倉敷市)で行うべきでしたが、主治医の御配慮で、笠岡で担当になって下さった先生と5月19日に行くことが出来ました。大きな手術と分かっていましたが、命までは関わっていないので落ち着いていました。その大きな手術は完璧に終わり、身体の中に収まってくれたようです。

術後の痛みも軽く、数日の微熱だけで過ぎて行きました。術後の大切なりハビリは、私が諦めそうになった時に厳しい線引きをして、やる気を引き延ばして下さいました。退院後のいまも家でのリハビリを続けております。私の行動出来る範囲は狭くなりましたが、手術が出来たこと、左側の手術をする勇氣をもらえた事を有りがたく思います。

理の親より、今回の術後にメールで、「日々恙なく健やかにお連れ通り頂く事は、人間の方が『当たり前』だと思っただけで、これを『大恩』と申す

のだとお話しした通りです。お道の信仰は、この『大恩』に報じる道です。」とお諭しいただいております。また「おたすけ・お願いカード」をお見舞いと一緒にお持ち頂いております。

改めて私的に多くの方々のご真心と真実を頂ける巡り合わせに感謝いたしましてこの原稿になりました。

8月は私の二つ目の誕生日なので前向きに勇んで書いてみました。

## おやさことふしん青年会

### ひのきしん隊に参加して

弥高山分教会 岡 崎 治 喜

私はこの度ひのきしん隊に初めて入隊させて頂きました。今まで幾度となく、青年会の方々から入隊のお誘いを頂いていたのにも関わらず、自分の都合を優先し断り続けていたのですが、今回は何が何でも参加したいと思い、半ば強引に参加のお許しを頂いたのです。というのも、私事ではありますが、この7月に教会長のお許しを戴く予定でして、今後教会長として入隊のお誘いをさせて頂くのに、余りにも不誠実ではないか、未経験の者から誘われて心の動く者が果たしてどれほどい

るのであるかと思つたからでありました。そうして入隊させて頂いた3週間余りのおちばでの伏せ込みは、私にとってかけがえのない経験となりました。

おちばでのひのきしんは、主にこどもおちばがえりの会場設営や、物品の整理、作成をさせて頂きました。私達の携わった作業が、子供達に喜びや感動を与え、笑顔を輝かせるのだと思うと大変喜ばしく、ひのきしんに勤しむように思います。何より親神様がお鎮まり下さる、教祖のお膝元であるおちばで伏せ込ませて頂ける喜びはなにもにも代え難いものであります。また、勇み心で通らせて頂いたためか、おちばでのひのきしんでは不思議と疲れを感じる事無く、神様の御守護で何不自由なく身体を使わせて頂ける感謝の念はより一層強いものとなりました。神様の温かい親心に間近で包み込まれ、伏せ込ませて頂けるひのきしん隊は、実に素晴らしいものだと思わせて頂きます。

私は、おちばでの講習や行事に参加させて頂くときに毎回感じる事があります。それはおちばに寄せられて来ら

大教会だより

Ⅱ 教会指令 Ⅱ

◎ 任命願

ひろさと分教会

\*前任 浅野和芳

\*新任 浅野明教



浅野明教氏

☆奉告祭 立教178年4月26日

立教178年6月14日承認

◎ 教人資格講習会(前期)修了者

立教178年7月1日終講

高屋 藤本 睦夫

れた方々の心配り、気配りの細やかさへの嘆称です。ひのきしん隊は講習等と違い24日間にわたり寝食を共にするため、今までで一番強く感じ入る事が出来たように思います。今回笠岡分教会は4つの他分教会と合同隊でありました。5つも分教会が集まると、分教会毎の特色があり、様々な人がいます。しかしそれぞれに初対面にも関わらず、皆一様に自分自身の事のように互いに親身になって接する姿や、思いもよらない所にまで目が届いている様を見て、自分の未熟さ、信仰に掛ける思いの足りなさを痛感させられました。お道の信仰者として目指すべき姿を、お引き寄せ頂いた班員を通して、神様がお示し下さったのだと思わせて頂きます。

ひのきしん隊の魅力や感想はまだまだ語り尽くせませんが、入隊して頂ければ分かって頂けると思います。私は全く違う印象を受ける方もいる事でしょうが、必ず素晴らしい経験になる事を保証します。次回は今回よりも多くの笠岡の方々と共に入隊し、おちばで伏せ込みの汗を流し、各々が感じ入った事を語り合えるのを楽しみにしております。



Tenrikyo Young Men's Association Kasaoka  
前へ! 前へ!

青年会フェイスブック開設

「この度、青年会笠岡分教会では、フェイスブックでのページを開設。

『天理教青年会笠岡分教会』で検索。

フェイスブックをしていない方は、  
<https://www.facebook.com/kasaokabunkai>  
から。

ぜひ、『いいね!』を押して下さい。」



あらきとうりよう入門塾

日時：平成27年8月15日17時 集合  
～16日昼食後 解散

場所：笠岡大教会

対象：高校生層（青年会員も可）

内容：大教会長様お話・ひのきしん・  
親睦行事など

持参品：一泊分の宿泊道具

※参加無料

担当：余村元（0852-85-2353）

学修高校の部の受講後、  
そのままご参加下さい。

## 六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心溢れる御守護とお育てにより 日々は結構に恙なくお連れ通り下さっております事は誠に有難く嬉しい限りでございます 加えて身上や事情にしろしを見せ お望み下さる陽気ぐらしへとお導き下さっております事は勿体ない極みでございます しかるに「せかいどうとこがあしきやいたみしよ神のみちをせてびきしらすに」とせつかく親直々にお手引きを頂いてもその理が分からず只苦しみにあえいでいる人が多くいます事は誠に申し訳無い次第でございます そんな中先んじてお道にお引き寄せ頂きました私共は「かしまのかりもの」の喜び感謝の心一杯に 日々は朝夕に御礼申し上げると共に 「世界一列救きたい」との親心にお応えすべく一人でも多くの人に親心を伝え 陽気ぐらしへの歩みを進めて貰うべく「つとめとさづけ」を通してにいがけおたすけにと努め励まして頂いております その中にも今日の吉日は六月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心一つに睦び合つて 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には梅雨の最中にも関わらず今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 日々のたすけ心を込めた八万二千二百四十三枚のおたすけお願いカードを持ち寄り 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げます 尚一層のたすけを願つて相共にお歌を唱和する皆の真実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

さて年祭活動仕上げの本年も早や半年が過ぎようとしており教祖百二十年祭まであと七ヶ月となりました 笠岡に繋がるお互いは「さあ、おたすけ！」を合言葉に「祈る・動く・つなぐ」の成人目標を申し合わせて親神様教祖にお喜び頂きましたけの上にお働き頂ける成人の歩みを進めさせて頂いております その中次々と不思議と思える御守護をお現し下さっております事は誠に有難い事と喜ばせて頂いておりますが まだまだ十分にはお働き頂けてないように思われますので より一層の勇み心を持ってたすけ一条の御用の上に邁進させて頂く所存でございます とりわけ目前に迫りました子供おぢばがえりには全隊帰参を目指し 子供と言わず親と言わず一人でも多くの人に声掛け帰参し 本年目標の一人おぢば帰りに大きなはすみをつけさせて頂く所存でございます

何卒親神様には 旬々にお与え頂く御用を通してたすけ一条の成人の歩みを進める皆の誠真実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上にも尚一層の自由の御守護をお現し下さり 単なる身上事情のたすかりのみならず真のたすかりを求める人が増強してお望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早くお導き下さいますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

### 第893期修養科募集要項

**\*修養科期間**

立教178年9月1日～11月27日

**\*教養掛**

3ヶ月間	門脇元教	(大教会役員・島根分教会長)
1ヶ月目	香取雅人	(川島郷分教会長)
2ヶ月目	枝廣隆文	(東福山分教会長)
3ヶ月目	豊田宏哉	(府中市分教会長)

**\*募集要項**

- ・志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日午前10時に解散。

立教百七十八年 六月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	役割										講話		
									区分		地方		おつとめ		てをどり		地			方	
上原順子	今川佐智子	虫明好美	上原浩	今川昌彦	中村道徳	門脇元教	谷内伸自	森本忠善	門脇郁子	田中ますみ	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	大教会長様	横山逸郎	杉原博之	中村剛	坐り勤	門脇元教	祭主	大教会長様
三島照美	岡崎豊子	佐藤香苗	佐藤真孝	岡崎輝彦	渡邊隆夫	虫明立生	田林久嗣	浅野明教	高木孝子	谷内美知子	武内正美	岡崎真一	中村剛	中村剛	上原繁次	三島渉	吉岡壽	前半	八月講話	指図方	森本忠善
室悦子	笹尾一美	内海安子	武内清明	山野弘実	山田敏教	高木昭祥	赤木素志	内海史郎	吉岡八恵	横山小智榮	門脇加津	上原志郎	中島誠治	中村邦義	吉岡誠一郎	笹尾正治	佐藤道孝	後半	中村剛	賛者	赤木素志

こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されています。 (敬称略)

▼『天理時報』

▽7月12日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡④ 藤井光子さん

草引きて蟻の領域に踏み込めば

数十匹が右往左往す

▼表紙写真

(吉岡輝昭かさおか編集部員)



「ここを早く片付けて！」

「分かっとなる。またする。大事な物がよけいあるんじやー」

「その言葉は耳にタコが出来くるくらい聞いた。みなゴミと一緒にじや。部屋の

中も私が全部する」

「そんなら、のうなったら責任とれよ！」

月次祭前の私と家内の恒例行事。2階に私の憩の場がある。4畳半の和室。隣の部屋の押し入れの前に私物のダンボールが積んである。その為、祭典に必要な物の出し入れが不便なことは事実。このダンボール箱が邪魔で、怒り

の先が部屋までくるのだと推察する。他人から見ればゴミ部屋でも、私にとっては大変便利な部屋だ。机の上に乱雑に積まれた書類、メモ、文具などでも必要な時にはすぐ取り出せる。今もこの最良の机で原稿を書いている。でも、ちよつと回りを見た。畳の上にも本や新聞などがところ狭しと置かれ、机に行く所、以外は畳も見えない。「おつと！」ダンボール箱が目についた。ホコリを払って開けて見た。何と、前回、修養科教養掛助員の時に持って行った物だ。中はそのまま。3年は経つだろう。箱の上にも本があり、その中に「漢字検定4級・問題集」が鎮座ましていた。

数年前、書店で立ち読みし、あまりの悔しさに「よし！完全制覇だ」と意気こんで買った物だ。半分ぐらいはしているが、後はきれいなものだ。以前「よりみち」に「数年経ったら本箱の肥しか、ホコリをかぶって部屋の隅にころがっているだろう」と書いたことがある。その通りだ。「継続は力なり」という言葉がある。部屋の整理も、コツ／＼と続けることも出来ない。

教祖130年祭まであと半年余りに迫った今日、「ああ、わしやー何と情けにやー男じやのう」と思うのです。何の役にも立たない原稿、誠に申しわけないです。「まあ『よりみち』じやけー」 (あ)

昭和49年 (1974年) 立教137年		
9	26	福昭分教会四代会長平盛隼美任命 (三代会長平盛才イチ辞任) 就任奉告祭：十一月十日
9	26	福春分教会四代会長北村アタコ任命 (三代会長山口政一辞任) 就任奉告祭：十二月一日
9	26	美ノ郷分教会二代會長桑田正則任命 (初代会長桑田正夫辞任) 就任奉告祭：十二月八日
9	26	西伯分教会三代会長本多一男任命 (二代會長本多常太郎辞任) 就任奉告祭：十二月四日
9	26	輝伯分教会五代會長砂流 勲任命 (四代会長砂流アキノ 昭和四十九年四月十六日 出直) (五〇〇人) 婦人会笠岡支部の母親講座を講師に馬関分教会長・安部栄治郎先生を迎え開催 (五〇〇人) 金霧分教会四代会長小池宏一任命 (三代会長河原アキヨ 昭和二十二年三月五日 出直)
10	26	金霧分教会移転
10	26	旧所在地：広島県呉市神田町十三丁目十一番地第一第二 新所在地：広島県福山市奈良津町甲八百十四番値の一
10	26	鎮座祭：十一月七日
10	26	奉告祭：十一月八日
10	26	金霧分教会を肥薩分教会と改称 芸備分教会から笠岡大教会へ所属変更
10	26	金霧分教会恒例祭日変更 (毎月九日)
10	26	湯田原分教会附属建物増築

昭和49年 (1974年) 立教137年		
5	22	婦人会本部委員・中川英子先生を迎え、婦人会笠岡支部婦人よふぼく大会挙行 (八〇〇人)
5	26	上父分教会移転建築
7	15	大教会承事・興明分教会二代會長吉岡セキ出直 (七十五歳) 就任奉告祭：昭和五十年十一月五日
7	25	こどもおちばがえり第一団出発 (高屋・久松 二十八日まで)
7	28	こどもおちばがえり第二団出発 (神邊 三十一日まで)
7	30	こどもおちばがえり第三団出発 (福山 八月二日まで)
8	1	こどもおちばがえり第四団出発 (直轄・玉島 四日まで)
8	16	第十三回夏季英語講習会開催 (二三〇人 十九日まで)
8	26	大江橋分教会移転建築
8	26	旧所在地：広島県高田郡吉田町大字吉田甲五百十一番地の四 新所在地：広島県高田郡吉田町大字吉田甲五百十一番地五
9	26	興明分教会三代会長吉岡 壽任命 (二代會長吉岡セキ出直) 就任奉告祭：十二月四日
9	26	鎮座祭：昭和五十二年九月四日
9	26	奉告祭：昭和五十二年九月五日